



徳田 修和 議員

現状を踏まえたわかりやすい人権啓発を

問 県の人権条例施行で市の取組に変化はあったか。

答 県内の主管課長等の会議が開催され、条例制定の経緯や人権を取り巻く情勢についての講話のほか、県内各自治体の取組状況や抱える課題について情報交換があった。今後も、県や他自治体と情報共有や連携をし、人権教育、啓発に努めていきたい。

問 的確な事業展開のために、実態を把握できる市民アンケートを実施できないか。

答 他の自治体でも補助制度や助成制度を設けているところもあるようだが、まずは実態の把握に努め、調査研究を進めたい。

問 墓地管理のあり方を真剣に考える時期に

答 埋葬のあり方が多様化してきており、無縁墓地や墓じまい等により、墓地管理が難しくなってきた。市独自の助成について検討すべきではないか。



藤田 直仁 議員

商工業者に対するの支援を

問 「ゼロゼロ融資」の返済開始時期がせまるなか、本市独自の融資支援制度を創設した経緯と事業内容はどうか。

答 感染症の長期化や物価高騰など、厳しい状況が続いている。返済負担軽減等の支援策として、本年、国が借換保証制度を創設した。これを受け、本市も返済や経費の負担軽減を図るために新たな融資制度を創設し、借換時に発生する保証料や利子の助成を計画している。

問 創業支援の一環である「リノベーションまちづくり」の現状はどうか。

答 令和元年度から、創業支援と一体となった民



鈴木 てるみ 議員

パートナーシップ制度の導入は

問 平成31年3月議会ですでに導入をめぐり議論がなされた。その後の検討はどうか。

答 現在、国において性的少数者への理解増進について、法制化の議論が進みつつある。今後の動向を見極め、引き続き検討していく。

問 リースによる公共施設のLED化を提案した。その後の状況はどうか。

答 民間提案制度を用いて有益な提案を募集したところ、リースによるLED化の提案があった。審査の結果、三社と協議を進めていくこととした。早期の事業化を図り、令和7年度中には、ほぼ完了させたい。ゼロカーボンシティの実現に向けて取り組んでいく。

問 その他の質問
・権利擁護施策について

詳しくは「はらひ」で



仮屋 国治 議員

2050年カーボンニュートラルに向けて

問 再生可能エネルギー導入の主役は地域である。脱炭素社会の実現という命題のみならず、国のエネルギー安全保障を高めるという観点から、実効性のある計画策定をすべきではないか。

答 本定例会施政方針において、ゼロカーボンシティを宣言した。公共施設の照明をLED化し、地域貢献を前提とした再生可能エネルギー事業を促進するなど、具体的な施策を検討していく。

問 国分準人の市街化区域の一体的な活性化を

答 ソニー東側の市街化適正誘導区域は、市街地のまちづくりにとって要所になると考える。一体

その他の質問

・地球温暖化対策について

詳しくは「はらひ」で



前島 広紀 議員

キリシマツツジの保存・増殖活動の推進を

問 本市におけるキリシマツツジの保存・増殖活動について問う。

答 保存・増殖活動は愛好者により取り組まれていますが、キリシマツツジは挿し木による増殖が難しく成長も遅いという特徴がある。開花時に合わせた写真パネル展の実施や、個人宅の庭を一般公開する「オープンガーデン」の開催などにより認知度の向上に取り組んでいく。

問 医療体制の充実について

答 霧島市立医師会医療センターの新病院建設の進捗状況は。

答 昨年12月27日に工事請負契約を締結し、本年1月15日に起工式を行った。現在は準備工事の段階である。

その他の質問

・幹線道路の整備について

詳しくは「はらひ」で



塩井川 公子 議員

家畜保健衛生所移設はどうなる

問 県の施設である家畜保健衛生所の移設について、畜産の盛んな霧島市、始良市、湧水町の中心地点である横川に移設できないか。

答 鹿児島県の施設であることから、その移設については県が判断するものである。

問 文化財保護と活用は

答 横川町上ノにある「弓削(ゆげ)が丘」や「木浦(きゅうら)権現」を整備し、価値ある文化財としてPRすべきではないか。

答 市内の貴重な文化財を適切に保存・継承するとともに、活用に努めていく。



湧水町



木浦権現

詳しくは「はらひ」で

